



令和6年1月  
津幡南中学校

あけましておめでとうございます。今年も、安全で安心な給食はもちろん、食を通して心と体を育てる給食を目指して努めてまいります。給食室一同、どうぞよろしくお願いいたします。

## 1月24日～30日は「全国学校給食週間」です

日本の学校給食は、明治22年（1889年）に山形県鶴岡市で始まり、全国に広がっていきました。しかし、第2次世界大戦で中断され、戦後の食糧不足で子どもたちの栄養状態がとても悪くなりました。こうした状況に世界各国から支援物資が届けられ、戦争で中断されていた学校給食が再開されました。世界中の人々からの温かい支援に感謝するとともに、教育の一環として行われる学校給食の意義を考え、その発展を期して毎年、全国学校給食週間が実施されています。



津幡南中学校では1月中に、中学生献立コンクールで入賞した献立を、給食週間に能登地区や金沢市の郷土料理、河北郡市や加賀地域の地場産物を使った献立を提供します。この機会に、給食を通して郷土のことや食べ物のことについて考えてみましょう！

### 第37回中学生学校給食献立コンクール

#### 優秀賞受賞

2年2組 西村優杏さん

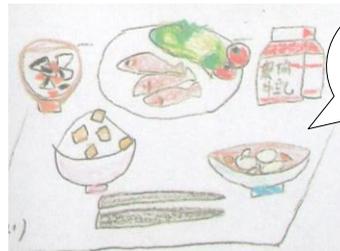
1月25日  
登場！！



#### 努力賞受賞

2年3組 谷口歩さん

1月18日  
登場！！



給食では食材や調理の工程の都合上、完全に再現はできませんが、少しアレンジして登場します。お楽しみに！！



## 給食室から嬉しいお話



先月から今月にかけて残量調査をしました。結果は全クラス本当に素晴らしいもので、欠席者いたの！？というくらい残量が少なかったです。それはもちろん良かったのですが、さらに良いな～と思ったのは残量調査以降も、**残量が少ない日がずっと続いている**ことです。各クラスの様子を見ていると、給食当番さんは盛り切れるように配膳をがんばり、盛り残ったとしても、クラスの担当？の人がみんなに配りまわっている様子が見られたりと、各クラス工夫して配食をしていました。時々、配るのが大変そうなクラスを手伝いにいきますが、「みんなに1口ずつ！」と言ってまわると快く食べてくれます。たくさんの盛り残しがゼロになるので、とても気持ちが良いです！これからもクラスみんな協力して、盛り残し・残量ゼロを目指しましょう！！